

# 人工妊娠中絶をお考えの方へ







## ポイント

- 妊娠初期の中絶は、手術で行う方法と、薬を使う方法があります
- それぞれのメリット・デメリットがあるので、説明を受けましょう
- どちらの方法も、かなり少ないですが、危険性がないわけではありません
- からただけでなく、気持ちの不調があるときは、ひとりで悩まず相談しましょう



## 中絶の方法

医療機関によって対応できる方法に限りがある場合がありますが、妊娠12週未満では手術で行う方法、妊娠9週0日以下では薬で排出させる方法があります

	手術法	薬剤法
手術前	閉じている子宮口をゆっくり安全に広げるための処置を行います 	1つ目の薬 医療機関内で内服します 妊娠の進行、維持を止める作用のある薬を飲みます 1つめの薬だけで子宮のなかみが出てくることもあります 
手術中	全身麻酔によって眠っている間に、子宮のなかみを吸引器や器械で取り除きます(15分程度) 	36・48時間後2つ目の薬 医療機関内で口腔内投与します 子宮口を広げ、子宮を取縮させる作用によって、なかみを出す薬を使用します 重い生理痛のような痛みを感じる場合があります 
術後	術後2・3時間 全身麻酔による眠気などがなくなり、子宮、出血などの状態を診察して問題がなければ帰宅できます 	0・24時間 かかる時間はまちまちです(下図参照) 子宮のなかみが出たら、子宮、出血などの状態を診察して、問題がなければ帰宅できます 

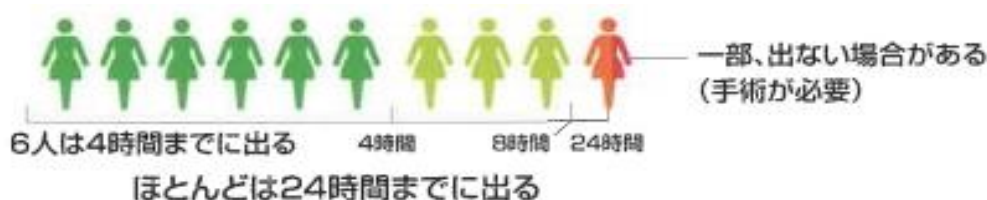
経膈分娩(膈からの分娩)の経験がない方のみ

人工妊娠中絶はどちらの方法も、母体保護法指定医師が所属する医療機関でしか受けられません

## それぞれの方法の特徴

	特徴	副作用		その他の共通の副作用
		子宮が傷つく	なかみが残る 再手術の可能性	
手術法	● 妊娠12週未満 ● 退院の日時があまりすれない ● 全身麻酔で行う ● 痛みはほとんどない	● 1/3000程度	● <b>ほとんどない</b>	● 出血 ● 感染症 ● アレルギー反応
薬剤法	● <b>妊娠9週0日以下</b> ● <b>出るまでの時間がまちまち</b> ● 麻酔と手術をしなくてよい ● 腹痛がある ● <b>比較的多い出血がある</b>	● <b>ほとんどない</b>	● 1割弱程度薬で出ない場合は手術が必要(下図参照)	

2つ目の薬を使用してからなかみがでるまでの時間  
(まれに、1つ目の薬のみでできることがあります)



## ※ 費用

手術法	約15万円(当日)
薬剤法	約13万円(当日)
	約14万円(1泊2日)
	約15万円(1泊2日+手術)

→これ以上に処置や日数がかからなければ、手術法を超えない

